

後援会は頑張る学生を応援します!

滋賀県立大学後援会会報 はっさか

# hassaka

vol.42

Supporters Group of USP



▲新しいステージ台を設営し、記念に写真を撮る湖風祭実行委員会の学生たち

県大の学園祭等で使用する新しいステージ台を昨年10月に後援会が助成して購入しました。

昨年の7月に開催した後援会理事との「学生懇談会」で、湖風祭実行委員会より現在使用しているステージ台の老朽化が進み危険であることの説明があり、新しいステージ台購入の要望がありました。

その後の理事会で、学生が安全に活動できるように新しいステージ台を購入することが決まりました。ステージ台は、湖風祭実行委員会が管理し、様々な用途に活用されます。

新しいステージ台はまず初めに「第21回湖風祭」のライブステージとして利用され、多くの学生の歌声をたくさんの方々へ届けました。



▲湖風祭でのライブ

## CONTENTS

### 後援会ニュース

「ステージ台新規購入」…………… 1

### 留学生交流助成事業

「留学生社会見学旅行」…………… 2

「異文化理解A」…………… 3

「国際環境マネジメント」…………… 4

県大の留学Q&A …………… 5

課外活動レポート …………… 6・7

### 就職だより

保護者の皆様へ、保護者向け就職説明会、

学内業界・企業研究会 …………… 8

インターンシップ報告、

公務員試験対策講座のご案内 …………… 9

就職内定者インタビュー…………… 10

事務局からのお知らせ …………… 11・12

## 留学生交流助成事業

後援会では、留学生交流活動助成として様々な活動に助成をしています。今年度、助成しました3事業をご紹介します。

### ■留学生交流活動助成！ 「留学生社会見学旅行」

外国人留学生が日本の文化などを知り、日本人学生との交流を図る機会として、毎年社会見学旅行を実施しています。これまでに、万博記念公園、富士山、神戸、海遊館、春日大社、伊勢神宮、永平寺、太秦映画村等で社会見学を行いました。今年、日本独自の技術である食品サンプル発祥の地、郡上八幡を訪れました。

外国人留学生22名(中国、韓国、イタリア、アメリカ、スペイン、ドイツ、フランス、ベトナム)と日本人学生13名の計35名が参加し、レタスと天ぷらのサンプル作りに挑戦しました。初めての体験にもかかわらず美味しく出来たものを見て、皆満足な様子でした。また店内には本物と区別がつかない数々のサンプルが陳列されており、学生たちは写真を撮るなど大変興味深い様子でした。

その後は、留学生と日本人学生がグループに分かれて、郡上八幡の古い町並みを散策しました。日本人学生が率先して案内する様子が随所に見られ、親睦がより深まり今後の交流活動に繋がる良い機会となりました。

[国際化推進室]



### ■参加留学生の声



キム チェリ  
(韓国)

「元祖食品作りの故郷」岐阜県で、どこでも容易にできない経験ができました！初心者でも、簡単に作れるために時間がたっていくのも忘れるほど楽しかったです。完成した作品も大大満足です！それに、岐阜県の美しい自然が楽しめたので忘れられない経験になりました！



サムエラ リドニー  
(イタリア)

USP organized a school trip to Gujo Hachiman for visiting the factory that makes sample food for all over Japan! Divided in two groups we had the honor to “prepare” our own salad and tempura to bring back home as a souvenir. After that we had free time to enjoy the town by our own. The day has been very well organized and very interesting as finally I had the chance to understand where and how it comes from all the sample food we can see in the restaurants. As Japanese students also enjoyed the school tour we shared our different cultural ways of being and learning from each other different aspects of everyone’s own culture.



郡上八幡の宗祇水(湧水)



レイクスペリオール州立大学

## ■ 留学生交流活動助成Ⅱ 「人間学 異文化理解A」

夏季休業中の3週間、アメリカミシガン州のレイクスペリオール州立大学において、「人間学 異文化理解A」として短期研修を実施しています。この研修は、レイクスペリオール大学教員による英語の講義とミシガン州北部の素晴らしい自然環境、文化を体験するフィールドトリップにより構成されています。その他にも同大学教員宅での週末ホームステイや、学生との交流会も組み込まれ、英語によるコミュニケーション能力の向上はもちろん、アメリカ・カナダの自然と文化に触れ、国際感覚を涵養し、異文化の理解に努めることを目的としています。出発前には英語と専門科目の特別授業を受講するとともに各自で研修テーマを設定し、帰国後は各テーマに基づき現地で学修した結果をまとめ、発表する機会を設けています。

[国際化推進室]

### 【平成27年度の実施概要】

期 間：8月8日(土)～8月28日(金)

参加者：8名

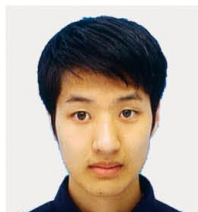
引 率：環境科学部生物資源管理学科 泉泰弘教授  
環境科学部環境政策・計画学科 松本健一助教



レイクスペリオール州立大学にて

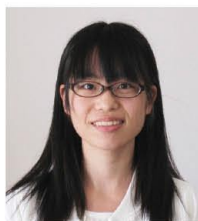


## 参加者の声



環境科学部 2回  
内村 隼人

アメリカでの生活は驚きの連続で、毎日が新鮮に感じました。慣れない事ばかりでしたが、仲間達や先生と楽しい日々を送ることができました。滞在していた寮での食事の支度や買い物、洗濯などからもアメリカの文化を学ぶ事が多くありました。講義では、英語の授業は勿論のこと、マーブリングアートや歴史文化などを学びました。ホームステイでは、牛やヌーの世話の手伝いや、野菜の収穫など貴重な体験をしました。また釣りを教えてもらったり、湖に泳ぎに連れて行ってもらうなど、楽しい日々でした。

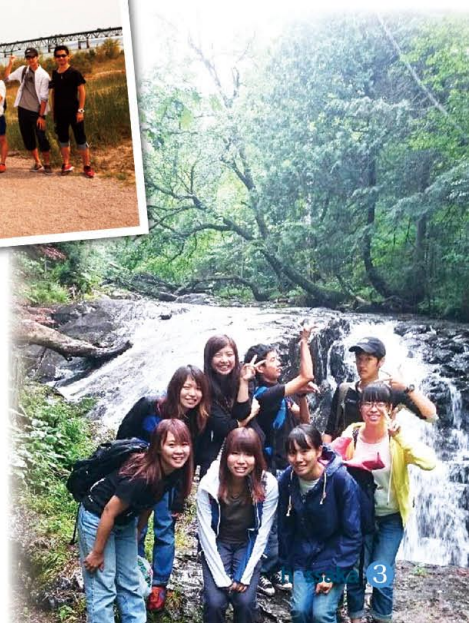


人間文化学部 1回  
齋田 桃夏

アメリカの生活や文化の違いに驚かされるばかりでしたが、一つ一つの感動を仲間たちと分かち合いながら、素晴らしい日々を送りました。フィールドトリップでは、様々な川や湖を巡り、実際に触れながらその成り立ちや豊かな生態系について学びました。広大な自然や水資源に恵まれたミシガンを感じることが出来る貴重な体験でした。



フィールドトリップ



## ■ 留学生交流活動助成Ⅲ 「国際環境マネジメントⅠ、Ⅱ」

国際環境マネジメントⅠ、Ⅱは、アジアの各国で、現地の学生とともに、環境問題、持続可能な発展について学ぶ全学共通の人間学科目です。今年度は、インドネシア・ポゴール農科大学と共催しました。県立大学から10名、ポゴール農科大学から8名の学生が参加し、2015年9月21日から27日にかけての開催でした。チボガス高地植物園、ジャティフル農業ダム、ジャティサリ病虫害予察センター、ポゴール植物園、環境教育ゲーム製造企業、ポゴール農科大学昆虫標本室、圃場などを見学し、ポゴール農科大学の教員から熱帯農業についての英語による講義を受けました。さらに、インドネシアの農業と文化をテーマとして日本・インドネシア混成チームによる討論、結果報告を行いました。今回の受講生の多くの気づきを、彼らの将来に活かしていく機会を設けていきたいと考えております。

環境科学部環境政策・計画学科 教授 高橋卓也



ポゴール農科大学 セミナールームにて

## ■ 参加学生の感想

### 「アンコット」

人間文化学部 人間関係学科 池田鮎美

ジャワ島にはアンコットというどこでも乗り降り可能なバスがある。私がインドネシアへ行って一番驚いた光景はアンコットにウクレレを携えた少年が飛び乗ってきた瞬間だ。彼らは慣れた様子で走っているアンコットに乗り込み、サッと封筒を配った。そしてヘリにぶら下がり、私達に歌を披露した。私は初め呆然とその光景を見ていたが、インドネシアの友人たちが封筒にコインを入れて彼らに差し出すのを見てはっとした。彼らのような人物は道中度々現れた。すると友人は必ずコインを差し出した。運転手は嫌な顔一つしない。私にとってこれは不思議な光景だった。日本人の私には彼らは物乞いのようにしか見えないが、友人や運転手の対応を見ると、私の思う物乞いとはまた違うものとして彼らは存在しているのだろう。近い感覚もたくさん感じたが、同時にここが異国であることを強く感じた瞬間だった。



### 「インドネシアの学生たち」

環境科学部 環境政策・計画学科 福井捺未

インドネシアの学生と長時間、共に過ごせたことが私にとってとてもよい刺激になった。彼らは出会った瞬間から、言い尽くせないほど親切に、そして積極的に私たちと接してくれた。彼らは講義やフィールドワークで積極的に質問し、英語はもちろん上手だったが、私たちが教える日本語をぐんぐん吸収していく姿が印象的だった。私たち日本人学生とインドネシア学生との学びに対する姿勢の違いを感じた。持ち前の明るさで、人に、学びに強い意欲をもって関わるインドネシアの学生を見て、私の学生生活を見つめ直させられた。今でもLINEで時々やりとりをしている。今回生まれた新たな交流をこれからも大切にしていきたいし、彼らをいつか、是非日本に招待したい。

### 「ゴミをゴミ箱に捨てるということ」

工学部 材料科学科 満川翔太

現地で小さな村を訪問した時、私はゴミが道端や川に無造作に捨てられている光景を目にした。そのゴミには生ゴミも含まれており、悪臭も漂っていた。後日、現地の学生に、インドネシアのゴミだらけの川と日本のきれいな川の比較写真を見せられ、「なぜ日本の川はきれいなのか」と聞かれた。私は、「ゴミはゴミ箱に捨てて、川には捨てないから。」と答えた。すると、「ゴミ箱にしかゴミを捨てないのか」と驚かれた。ゴミをゴミ箱にだけ捨てるという感覚がそもそも無かったのだ。日本での当たり前が世界では違うということを知った瞬間だった。



### 「インドネシアの交通事情」

環境科学部 生物資源管理学科 藪田暢也

これまで私は日本以外のアジアに旅行などのかたちで訪れたことは一度もなく、今回が初めてのインドネシア訪問だった。私はそこでたくさんの貴重な体験をすることができた。中でも最も印象深かったのはインドネシアの交通事情だ。私たちは主にインドネシアのポゴールに滞在したが、そこでは信号は全く無かった。また、車やバイクの数は非常に多かった。車間距離は非常に狭く今にも事故が起こるのではないかとこのほどだった。しかし、驚くことに事故はあまり無かった。このことが私にとって最も印象に残ったことだった。

☆本コースのコンセプト、内容、実績については、滋賀県立大学環境科学部ホームページからご覧いただけます。『環境科学部+環境科学研究科年報第19号(2014年度)』の特集記事「国際環境マネジメント」-日本・アジア協働の環境教育プログラム-(41~43頁)および参加学生レポート(44~46頁)をご参照ください。(http://www.ses.usp.ac.jp/nenpou/)

# 保護者が知りたい留学のこと 国際化推進室にうかがいました

留学の相談は  
国際化推進室へ!!



国際化推進室のみなさん

**Q** 誰でも留学できますか？

**A,** 学部に関係なく、期間、目的、条件、予算等に合わせて留学することができます。

**Q** 留学の種類を教えてください。

**A,** ①**交換留学**：本学と学生の相互派遣協定を締結している協定校への留学です。交換留学先の大学の授業料が免除されますが、留学先の言語能力、県立大学の成績、留学計画書の内容などに基づいて学内で選考があります。



**【交換留学データ】**

☆協定校の数 10カ国19大学1機関 (2015.11現在)

☆年間留学生数 国際コミュニケーション学科 30人、その他学科 6人 (2014年度)

※この数字は「交換留学」の人数です。

②**認定留学**：自分が学びたい分野や国が協定校になく、協定校以外の大学に行きたい場合の留学で期間が3ヵ月以上の留学です。

③**短期海外研修**：本学の夏季休業期間や春季休業期間を利用した約1か月の海外研修です。多くの国の大学で、3週間程度の多様なプログラムが実施されているので、自分の条件に合ったプログラムを探して参加します。

④**「人間学」**：人間学の履修科目として、夏季休暇にアメリカへ行く「異文化理解 A」と春季休暇に中国へ行く「異文化理解 B」、アジアの協定校でアジアの環境問題について学ぶ「国際環境マネジメント」があります。それぞれ2単位を取得できるプログラムです。

※その他、国際コミュニケーション学科の学生対象の派遣留学があります。

**Q** 費用はどのくらいかかりますか？

**A,** ①**交換留学**

留学先	期間	費用の目安(渡航費・生活費・海外留学保険費等含む)
アジア圏	9～10ヵ月間	約60万円～約90万円(留学助成金制度有)
アジア圏以外	9～10ヵ月間	約120万円～約180万円(留学助成金制度有)

※費用に含まれていないもの(各種申請手数料等、現地交通費、教科書代等)交換留学では、留学先の大学の授業料が免除されます。(県大の授業料は要納付)

③**短期海外研修**

留学する大学、研修期間により異なります。

④**人間学**

留学先	期間	費用
異文化理解A(アメリカ)	3週間(夏季休暇中)	約35万円程度
異文化理解B(中国)	3週間(春季休暇中)	約25万円程度

○国際環境マネジメントは毎年実施国や時期、費用が異なります。

※後援会より助成金(¥10,000)の交付があります。

②**認定留学**

留学する大学、留学期間により異なります。

認定留学では、留学先の大学の授業料と県大の授業料を納付します。(留学先授業料助成有)

留学関係の資料は国際化推進室の前にあります



留学について詳しくは滋賀県立大学のホームページをご覧ください。  
(<http://www.usp.ac.jp/>)  
滋賀県立大学トップページ → 教育プログラム → 国際交流・留学情報

第21回

# 湖風祭

昨年の11月14日、15日に第21回湖風祭～わ～を開催しました。14日はあいにくの雨にもかかわらず、多くの方々が湖風祭に足を運んでくださいました。15日は天気も回復し、星空のもと第21回湖風祭を締めくくることができました。皆様の思い出と私たち実行委員会スタッフとの思い出がつながり、思い出の“輪”がくれたことを本当にうれしく思っています。

湖風祭は環境に配慮した大学祭を目指しています。今回もDRP (Dish Return Project) という活動をしました。DRPとは、洗って繰り返し使えるお皿を模擬店で使い、模擬店から出るゴミを削減しようとする取り組みです。今年は2日間を通して4043枚のお皿のゴミを削減することができました。また今回から、更なる環境配慮を求めて割り箸の販売を止め、プラスチック箸のレンタルをすることにしました。結果として、2225膳の割り箸ゴミの削減をすることができました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

今回は“湖風祭に関わっている人たちみんなで楽しみたい”という思いから、お客さん・企画団体さん・模擬

店出展団体さんなどが一緒に参加できる企画を考えました。その一つにエンディングの「WAになっておどろろ」のライブがありました。会場内のみんなで“輪”を作り、みんなの携帯電話のライトをつけて音楽に合わせて一斉に振るという企画です。夜空の下、光の波の中にたくさんの笑顔があふれました。それは湖風祭を通じてみんなが一つになった感動的な瞬間でした。私は、このようにみなさんとの繋がりによって成功する企画が続いていけば、今後の湖風祭がより良いものになっていくと感じました。次回の湖風祭も必ず、みなさんと一緒に楽しめて、よい思い出作りができる大学祭となるはずですよ。ぜひ、第22回湖風祭へお越しください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

最後に、昨年10月に後援会より新しいステージ台を購入していただき、第21回湖風祭では安心してライブステージを行うことができました。今後も湖風祭だけでなく、課外活動の成果発表など様々な用途に活用させていただきます。ありがとうございました。

湖風祭実行委員会委員長

平田 修也



## 県大ミニアルバム

県大の四季の風景を集めました

Spring

キャンパスは一面桜色に染まります。特に環濠周りの桜は一見の価値あり。



夏はお祭り！  
県大も湖風夏祭の盆踊りで盛り上がります。



Summer

# 荒神山ロックフェス 2015



昨年8月29、30日に滋賀県立大学センター広場にて“荒神山ロックフェス2015”を開催しました。本大学の音楽会（軽音部、アコースティックサウンドクラブ、BigBand部）の部員をスタッフとして、企画・運営を学生主体で行う野外ロックフェスです。今回で第14回目を迎えたこのイベントは、滋賀はもちろんのこと京都・大阪・東京などで活躍する実際のバンドに出演していただきました。残念ながら二日目は天候に恵まれず、室内の学生ホールでのステージとなってしまいましたが、両日とも非常に熱いステージで記憶に残る2日間となりました。今年も地域の方々や湖風祭実行委員会など、たくさんの方々のご協力のもと無事終えることができました。この荒神山ロックフェス2015にご協力していただいたスタッフを含む皆様に感謝を申し上げます。来年以降もこの荒神山ロックフェスは続いていくと思うので、是非一度足を運んでいただくと幸いです！



荒神山ロックフェス2015実行委員長  
柴原 脩 亨



## リサイクル市 開催のお知らせ

環境系サークル「LEAFS(リーフス)」による、リサイクル市が開催されます。

**日時** 3月27日(日) 10時30分より

**場所** 滋賀県立大学 交流センター

**取扱品** 家具：カラーボックス・机・イス・ベッド等  
家電：冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・照明・トースター・炊飯器等  
その他：食器、雑貨など

卒業する学生の下宿等で不要になった生活用具を中心に安価にて販売します。  
詳しくはLEAFSのホームページをご覧ください。

[リーフス リサイクル市](#)

検索

## Autumn



年に数度は銀世界に。  
通学に苦労する反面、  
雪遊びに夢中になる  
学生たちも。

夕焼けに染まる  
学舎は絵葉書のような。  
澄んだ空気の中、  
一瞬時が止まります。



## Winter

## 就職担当から保護者の皆様へ

2016年卒の新卒採用から「広報活動は12月1日以降から3月1日以降に」「選考活動は4月1日以降から8月1日以降に」スケジュールが3~4ヶ月後ろ倒しされました。この変更は、大学における学修時間の確保等を目的として政府が主体となって立案し、経済団体に要請したものです。これを受けて経団連が「採用選考に関する指針」を発表するなど、企業、大学等は対応を迫られました。

本学では例年1月に実施していた「学内企業研究会」を3月に遅らせ実施することとしましたが、それだけでは学生の業界・企業研究の機会が十分でないと判断し、これに先立つ1月に企業等の協力を得て取り組むキャリア教育の一環として、「学内業界研究会」を3日間開催しました。90社の企業から業界や自社の動向をお話いただきましたが、延べ800名近くの学生が参加するなど一気に学生のやる気が高まり、その後の就活にスムーズに移行できたものと考えております。

結果的に、8月より前に選考を始める企業が出たことから、はじめの狙いとは逆に学生は長い就職活動を強いられることとなりました。2017年卒については、広報活動の開始時期は従来どおり3月、選考活動開始時期は8月から2ヶ月早まり6月になりました。

既に学生には学内セミナー等を通じ、周知徹底を図っておりますが、今後も学生に不安と混乱が生じないよう適切に対応して参りたいと考えております。

学生にも学生支援センターが発信する情報に感度高くアンテナを張っておいて欲しいと思います。

[学生支援センター 就職担当]

## 保護者向け就職説明会を開催しました

昨年10月31日(土)に、本学交流センターにおきまして、保護者を対象とした就職説明会を開催しました。本説明会は、最近の就職活動がエントリーシートや就職情報サイトの活用などにより、保護者世代の就職活動とは様変わりしてきていることや、2016年卒から就職活動の開始時期が後ろにずれこんだことにより、学生の不安が高まっている状況を踏まえ、学生の就職活動に対する保護者の理解と協力を得ることを目的に開催したもので、141名の保護者の方々にご参加いただきました。

倉茂好匡副学長兼学生支援センター長の挨拶のあと、本学の就職支援の状況について学生支援センター職員から説明があり、続いて本学の就活セミナーの講師をお願いしている一般社団法人キャリアラボ代表理事の松田剛典さんから「就職活動の現状、家庭で出来る就職支援」と題し講演をしていただきました。

その後の座談会では、就職活動を終えたばかりの内定者(現4回生4名)が登壇し、「就職活動を振り返って」というテーマに基づき、松田さんの司会進行のもと、就職活動の進め方や、保護者のサポートの重要性など、実体験をふまえた生の声を聞かせてくれました。



◀ 一般社団法人  
キャリアラボの  
松田剛典さんの  
講演



◀ 就職活動を  
振り返って  
(座談会)



◀ 説明に熱心に  
耳を傾ける  
保護者の皆さん

## 学内業界・企業研究会

1月12日から3日間、本学の交流センターで学内業界研究会が開催されました。県内外の優良企業約90社が参加し、各ブースで企業説明を行いました。参加学生たちはそれぞれのブースをまわり、熱心に話を聞いていました。

来る3月2日からは約80社が参加する学内企業研究会が開催されます。こちらは3回生と院1回生を対象とした企業説明会です。企業の人事担当者から、採用に関する情報などを直接聞くことができます。これに先立ち2月19日には「合同説明会準備セミナー」が予定されています。就活が本格化するのは3月からですが、就活に必要な“知識”や“能力”は早くから身につけておいてほしいものです。



▲ 学生の様子



## インターンシップ報告2015 就活の第一歩 インターンシップ

～職業経験から学ぶ これからの生き方～

### インターンシップでの様子



### インターンシップ報告会



滋賀県立大学では、学生が職業選択や自らの生き方、適性を考える機会として、企業や自治体と協定し「インターンシップ」を実施しています。

夏季休業期間中に1週間ないし2週間、企業や自治体で就業体験をします。就業体験の事前、事後の研修を含めて単位認定をしています。

今年度の本学のインターンシップには、4月のガイダンスに約350名が参加しました。その後マッチングが成立し、就業体験を行った者は84名でした。インターンシップに参加した8割以上の学生が満足感を表しています。仕事や職業、働くイメージがわかり、自分を振り返って適性や目標を考えることができたと述べています。84名中54名が10日以上、30名が5日以上就業体験をしました。業種は、公務関係が一番多く34名、製造業18名、サービス業16名でした。その他、建設業や情報通信業、卸売業、金融業に行った学生もいます。

今年は、企業の採用選考の時期が遅くなったことの影響からか、企業が独自に実施するインターンシップも増えました。採用選考につながるものもあるので、参加目的をよく考えて選ぶことが大切です。

10月20、22、23日に報告会を開催し、働くことについてのディスカッションも行いました。

【学生支援センター インターンシップ担当】

## 公務員試験対策講座

本学では、毎年5月から翌3月まで主に3回生を対象に公務員試験対策のプロによる「公務員試験対策講座」を3コース開講しています。それぞれ有料ですが、受講者には後援会から助成金が交付されます。

### 行政職コース(全226回)

[概要] 国家一般職・地方上級・国税専門官・裁判所事務官・市役所等行政系職種に対応。

[講座特色] 公務員試験に必須の主要5科目の集中的なライブ講義とゼミの開講

[受講料] ¥80,000 (税込・教材費込)

[助成金] ¥10,000 (受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る)

### 一般教養コース(全86回)

[概要] 福祉職・技術職・市役所(一般教養試験のみ)・警察官・消防官を目指す方に。

[講座特色] 全ての公務員試験で重要な数的処理を中心とする集中的なライブ講義

[受講料] ¥22,500 (税込・教材費込)

[助成金] ¥6,750 (受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る)

### 1・2回生コース(全166回)

[概要] 在学中に必ず公務員試験に合格したい方に。早い段階からの学習により、余裕をもって本番に臨めます。

[講座特色] 3回生行政コースとほぼ同じ内容。(一部教養科目、面接対策等除く)

[受講料] ¥61,000(税込・教材費込)

[助成金] ¥10,000(受講料全額支払い後、後援会に申請し助成金を受取る)

※受講料と助成金は平成27年度の金額です。平成28年度は変更になる可能性があります。

本学の公務員試験合格者は増加傾向にあります。現状では、合格者が34名おり(11月14日現在)、内15名が行政・事務系職、19名が建築、農業土木等の技術職や公安職です。

この中で特筆すべき点は、行政・事務系総合職合格者の大半である12名が講座受講生ということなのです。しかも、約1年間もある講座を最後まで受講し続けた学生が合格を勝ち取っています。毎年、4月20日頃に講座の説明会を行っています。お子様が公務員を目指しておられましたら、ぜひ参加を勧めてあげてください。

【学生支援センター 就職担当】

# 「就職活動成功体験インタビュー」～学生からのメッセージ～

就職内定を勝ち取った4回生の皆さんの中から4名の方にお話を伺いました。

学部・学科  
環境科学部環境建築デザイン学科  
氏名  
藤田 弥優  
内定先  
株式会社長谷工コーポレーション



志望業界	建築
説明会参加数	22社
エントリーシート提出数	16社
面接数	10社
内定数	2社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いましたか？

企業をよく調べ、事業内容を理解することが大切だと思います。面接で仕事内容を理解しているかが見られ、本当に志望しているかどうかが見極められていると感じました。何より真剣さが伝わるのが大切です。

●後輩の皆さんへアドバイスをお願いします。

自分に合った企業が、たくさん選考を受けることで分かります。事業内容で初めから受ける企業をしぼるのではなく、ある程度広い視野を持って就活を進めてみることをお勧めします。

●家族へのメッセージをお願いします。

交通費を気にせず何社も説明会に行けたのは両親の支援があったからでした。黙って見守り、時には愚痴を聞いてくれたことにとっても感謝しています。来年からは少しずつ恩返しをしていきたいです。

学部・学科  
工学部電子システム工学科  
氏名  
堤 洸樹  
内定先  
株式会社ダイフク



志望業界	産業機械
説明会参加数	30社
エントリーシート提出数	20社
面接数	10社
内定数	1社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いましたか？

志望動機がはっきりしているかどうかです。その志望動機で業界だけではなく、なぜその会社を選んだのかわかるまではっきりと書くことが大切だと思いました。

●後輩の皆さんへアドバイスをお願いします。

面接をする人事の人がどんな人を採用したいか考えてみましょう。そうすれば、どのように面接に臨めばいいかわかると思います。

●家族へのメッセージをお願いします。

金銭的、精神的に支えてくれてありがとう。これから働き始めても相談したり、迷惑かけたりすると思いますがよろしくをお願いします。

学部・学科  
人間文化学部地域文化学科  
氏名  
田端 拓郎  
内定先  
京都市役所(行政職)



志望業界	行政・教育
説明会参加数	3社
エントリーシート提出数	3社
面接数	1社
内定数	1社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いましたか？

自己分析。自分のやってきたことを信じて掘り下げてみる。そして、自分の強みを見つけることができれば、自信もつくり、面接でも物怖じせずアピールできると思います。

●後輩の皆さんへアドバイスをお願いします。

就活や勉強の仲間を作ってください。私もつらいときに友達が支えになったので。後は、もう頑張るしかありません。勉強、自己分析、企業分析、先輩訪問、やれることは山ほどあるので、ダラダラせず、第1希望に向けて死ぬ気で頑張ってください。

●家族へのメッセージをお願いします。

家族、親せきのみんなにはめっちゃ感謝してます。大学生生活の4年間をいつも笑って過ごせたのは、陰でいるんな人に支えられていたからだと思います。まあ、これからもみんな笑顔で人生を謳歌しましょう。あと、長生きしてね。

学部・学科  
人間看護学部人間看護学科  
氏名  
山崎 あい子  
内定先  
滋賀県立成人病センター



志望業界	看護師
説明会参加数	3社
エントリーシート提出数	2社
面接数	2社
内定数	1社

●就職活動で内定を勝ち取るために何が一番大切だと思いましたか？

焦らずに自分の言葉で思いを伝えることです。面接はとても緊張しますが、集団面接では隣の人と同じような話をしてしまうかもしれません。しかし、落ち着いて今まで自分が取り組んできたことを話すことです。

たくさん悩むこともありましたが、相談したり、一緒に頑張る友達がいることで乗り越えることができたので、そういう仲間を持つことも大切だと思います。

●後輩の皆さんへアドバイスをお願いします。

人間看護学科は看護師の他にも多くの進路が選択できるので、様々な実習を踏まえつつ、まずは自己分析をしてみてください。将来、自分は何になりたいのか、目指すものは何かを明確にすると強い意志をもって就活に取り組めると思います。頑張ってください。応援しています!!

●家族へのメッセージをお願いします。

4年間たくさん迷惑もかけたけど、温かく見守ってくれてありがとう。家族の支えがなければ湖風祭実行委員会の活動や看護実習などに全力で取り組むことはできませんでした。大学生でしかできないことをたくさんやらせてもらい、楽しく充実した大学生活が送れました。本当に感謝しています。ありがとう。

# 大会出場激励金授与式

後援会では、予選を通過して関西や全国規模の大会に出場する学生に大会出場激励金を授与しています。今年度は、12月までに3団体17名が理事室にて倉茂理事より激励金を授与されました。

## 陸上競技部

### 「第83回近畿陸上競技選手権大会」

#### ●100m×4リレー出場

樋口雄紀さん、疋田天希さん、川合広留さん、井上 亮さん、西村成貴さん、西川司紗さん

#### ●やり投げ出場

西川司紗さん



▲陸上競技部メンバーとウインドの相馬さん

## 弓道部

### 「第63回全日本学生弓道選手権大会」出場

倉角哲也さん、伊藤優斗さん



## ウインドサーフィン部

### 「第70回国民体育大会」 セーリング ウインドサーフィン種目出場

相馬佳映さん

### 「伊勢湾カップ2015」出場

森 祐太さん、福永康倅さん、土屋明穂さん

### 「2015ウインドサーフィンアジア選手権」出場

森 祐太さん、相馬佳映さん

### 「テクノ293ワールドチャンピオンシップ」出場

森 祐太さん

### 「2015年度全日本学生ボードセーリング選手権(インカレ)」出場

森 祐太さん、安永悠莉さん、小堀 亮さん、相馬佳映さん、近藤風太さん、大田祐希さん、高橋明日香さん、土屋明穂さん



## インカレ優勝!!

You're a hero!



森祐太さん



インカレ表彰式(森さん中央)



森さんのセーリング



開催地沖縄でメンバーと

県大ウインドサーフィン部は数々の大会で好成績を残してきました。その中でも森祐太さんは、ワールドチャンピオンシップで2位になるなど、目覚ましい活躍をされています。そして今回「2015年度全日本学生ボードセーリング選手権(インカレ)」で優勝し、学生日本一になりました。おめでとうございます！森さんとウインドサーフィン部の今後ますますの活躍を期待しています。

会員の皆様、ご支援・ご協力ありがとうございました。昨年11月14日の理事会終了後、理事と職員の皆さんとキャンパス内を見学しました。折しも湖風祭の開催中でした。学生たちの笑顔と歓声が校内狭しと響き渡っていました。



池上 松夫

今後とも、「地域に開かれた滋賀の大学」「人が育つ大学」として、ますます発展していくように、後援会活動の更なる充実を期待しています。時間の許す限り、大学に足を運んでください。そして学生たちと大いに語り合しましょう。「一生青春」「一生現役」

振り返ればあっと言う間の4年間でした。それは息子も同じだと思います。大学に至るまで、私自身が学校に関わることが出来たこと、本当に楽しめました。後援会理事になったことで湖風祭の実行委員長を務めた息子の成長する姿を身近で見ることができました。理事会での学生とのディスカッション、本当に楽しかったです。あと少しの任期、頑張ります。もう少し楽しませてください。2015年11月20日現在の心境！

小西 祥夫

姉の背中を追いかけるように県立大学に入学した娘の学生生活は、中途半端を嫌う彼女の性格を最大限生かした実のある4年間だったと思います。苦しい時に傍に居て助けて下さったのは、尊敬する先生方や心優しい仲間達だったと言い、親として感謝の念に堪えません。本当に有難うございました。



宮川 淳子

後援会理事としてお役に立てた実感はありませんが、地元彦根の誇りである県立大学の益々の発展と学生の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

兄が4年前の3月に県立大学を卒業し、翌4月に娘が入学し、8年間お世話になりました。また、理事および事務局の皆さんにも、私も妻も、「湖風会」の会員でありながら、貢献できなかったことを反省している次第です。

県大の開学20周年を迎え、後援会活動において、学生の皆さんに満足していただける助成ができるよう議論してきましたが、残された課題は多々あります。「はっさか」で学ぶ学生の皆さんへの限られた財源での有効な活用に期待します。

上田 薫

## 春の学校行事のご案内

### ■2015年度 学位記授与式

日時:2016年3月21日(月・振替)

- 第1部 大学院学位記授与式  
午前9時～9時30分
- 第2部 学部学位記授与式  
午前10時45分～(11時30分)  
※学生表彰  
(11時30分)～11時50分

場所:滋賀県立大学  
交流センターホール

### ■2016年度 入学式

日時:2016年4月6日(水)

午前10時開式  
場所:ひこね市文化プラザ

### ■2016年度 後援会総会

日時:2016年4月6日(水)

午前11時15分開会  
場所:ひこね市文化プラザ  
※入学式後、同会場にて開催予定です。



### 後援会ホームページのご案内

後援会の事業内容や学生保険の詳細、広報「はっさか」のバックナンバー、お知らせや大学の様子を伝えるブログなどをご覧ください。

滋賀県立大学後援会

<http://www.usp-koenkai.jp>

検索